

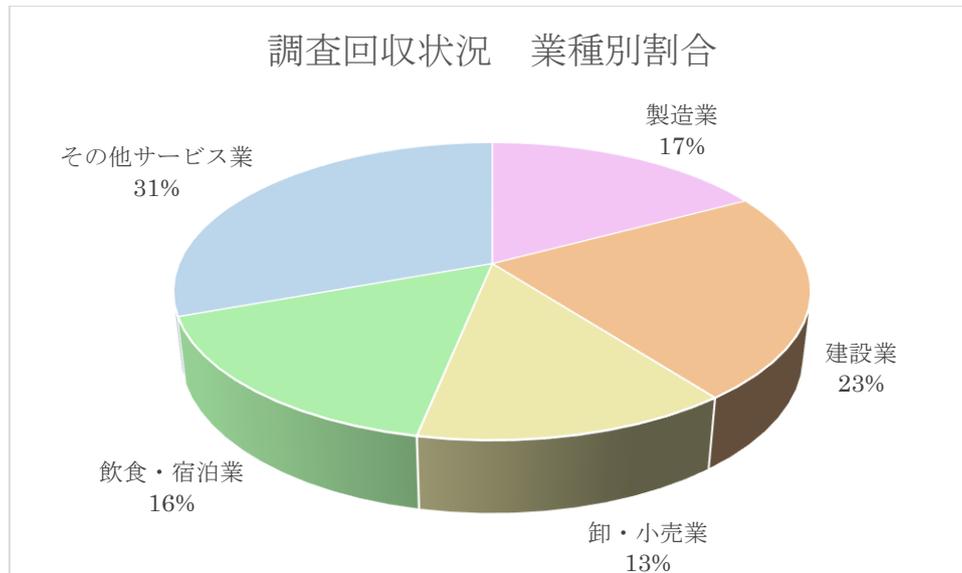
千歳市景気動向調査結果

調査期間：2024年1～3月の実績と2024年4～6月の見通しについて調査

調査方法：調査票を送付し、FAXまたはWEBにて回収

調査対象：千歳商工会議所会員及び特定商工業者

回収状況：122社



DI（景気動向指数：ディフュージョン・インデックス）とは

増加・上昇・好転の企業割合から減少・降下・悪化の企業割合を差し引いた値のことです。

この数字がプラスかマイナスか、また、その大きさにより景気の動きを時期的な推移の中で把握します。

景気が「良い」の中には、「良いけど悪くなりつつある」などの考えも含まれるため、**業況判断DIは、景気の方角性を表すもの**です。

数値が上昇していれば、良い景況感（景気が良いと感じる企業の割合が増えたこと）を意味します。

本調査では前期（2023年10～12月）と比較した今期（2024年1～3月）の実績及び、今期（2024年1～3月）と比較した来期（2024年4～6月）の予測、今期（2024年1～3月）と前年同期の比較を掲載しています。

《 全体の景気動向 》

【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (10～12月)		今期実績 (1～3月)【前年実績】		来期予測 (4～6月)
業況	▲4.5	→	▲4.9 【▲12.7】	↑	3.3
売上	4.5	↓	▲0.8 【▲17.6】	↑	19.7
採算	▲17.3	↑	▲9.8 【▲27.5】	→	▲9.0
原材料	▲72.9	→	▲68.0 【▲74.5】	→	▲69.7
資金繰り	▲9.0	→	▲9.0 【▲4.9】	→	▲7.4
労働時間	0.0	↓	▲11.5 【 1.0】	↑	▲0.8
雇用状況	13.5	↑	29.5 【 26.5】	→	33.6

表中の矢印 ・ ・ ・ 5ポイント以上の推移を上下矢印（↑・↓）で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印（→）で表示

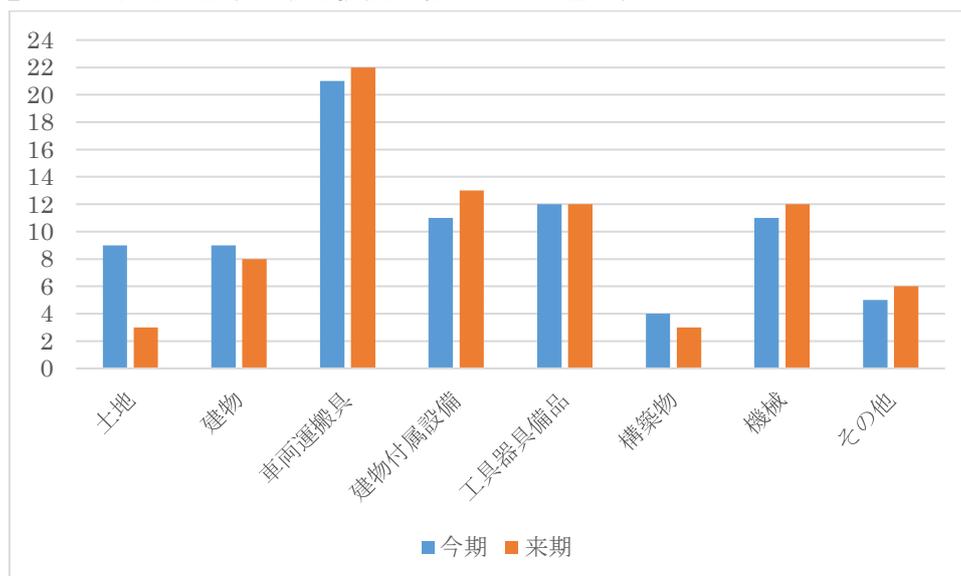
【設備投資調査】

前期（10～12月）設備投資をした企業は34.2%

今期（1～3月）設備投資をした企業は45.5%

来期（4～6月）設備投資を計画している企業は56.2%

設備投資をした（する）企業のうち投資内容は以下の通り。



《 製造業の景気動向 》

【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (10～12月)		今期実績 (1～3月)【前年実績】			来期予測 (4～6月)
業況	15.4	↓	5.0	【▲26.1】	↓	0.0
売上	30.8	↓	▲10.0	【▲34.8】	↑	10.0
採算	30.8	↓	0.0	【▲30.4】	↓	▲25.0
原材料	▲76.9	↑	▲70.0	【▲91.3】	→	▲70.0
資金繰り	7.7	→	10.0	【 4.3】	↓	0.0
労働時間	15.4	↓	▲20.0	【▲4.3】	↑	▲10.0
雇用状況	23.1	↑	30.0	【 39.1】	↓	25.0

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印(↑・↓)で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印(→)で表示

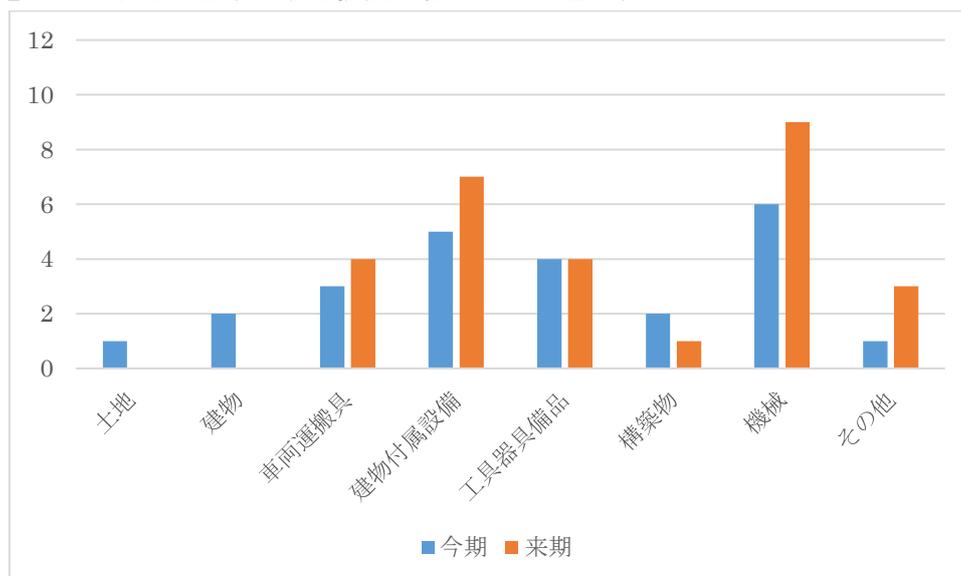
【設備投資調査】

前期(10～12月)設備投資をした企業は61.5%

今期(1～3月)設備投資をした企業は65.0%

来期(4～6月)設備投資を計画している企業は80.0%

設備投資をした(する)企業のうち投資内容は以下の通り。



《 建設業の景気動向 》

【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (10～12月)		今期実績 (1～3月)【前年実績】		来期予測 (4～6月)
業況	▲20.8	↑	7.1 【▲25.0】	↓	0.0
売上	0.0	↑	7.1 【▲30.0】	↑	17.9
採算	▲29.2	↑	3.6 【▲35.0】	↓	▲7.1
原材料	▲79.2	↑	▲57.1 【▲80.0】	↓	▲67.9
資金繰り	▲4.2	↓	▲10.7 【▲10.0】	↑	3.6
労働時間	▲4.2	↓	▲25.0 【▲15.0】	↑	▲7.1
雇用状況	29.2	↑	39.3 【40.0】	↑	46.4

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印(↑・↓)で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印(→)で表示

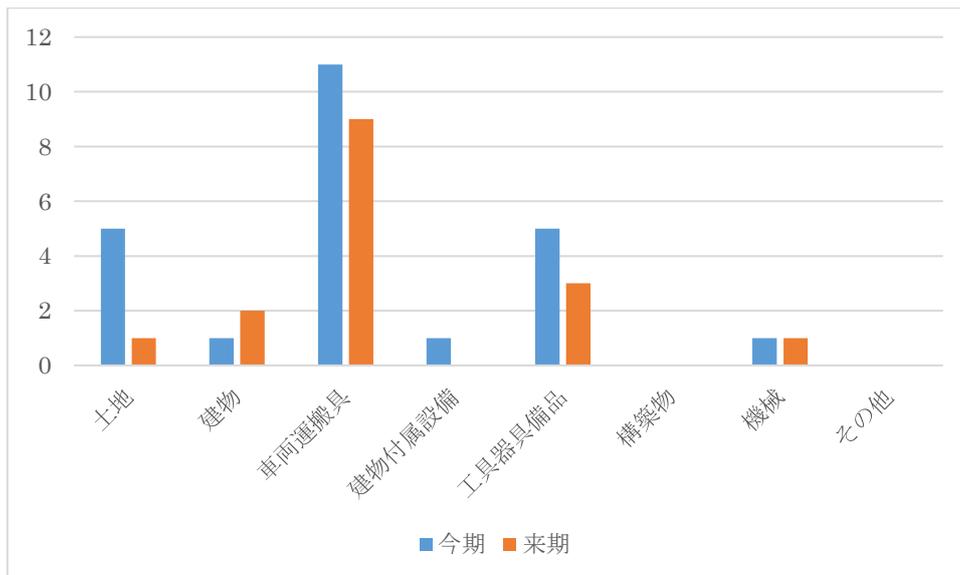
【設備投資調査】

前期(10～12月)設備投資をした企業は45.8%

今期(1～3月)設備投資をした企業は60.7%

来期(4～6月)設備投資を計画している企業は42.9%

設備投資をした(する)企業のうち投資内容は以下の通り。



《 卸・小売業の景気動向 》

【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (10～12月)		今期実績 (1～3月)【前年実績】		来期予測 (4～6月)
業況	10.5	↓	▲18.8 【▲38.5】	→	▲18.8
売上	5.3	↓	▲12.5 【▲76.9】	↑	12.5
採算	▲21.1	↓	▲31.3 【▲61.5】	↑	▲18.8
原材料	▲89.5	→	▲87.5 【▲76.9】	↑	▲75.0
資金繰り	▲10.5	↓	▲18.8 【▲15.4】	↑	▲12.5
労働時間	10.5	↑	18.8 【23.1】	↑	25.0
雇用状況	10.5	↑	31.3 【7.7】	→	31.3

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印（↑・↓）で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印（→）で表示

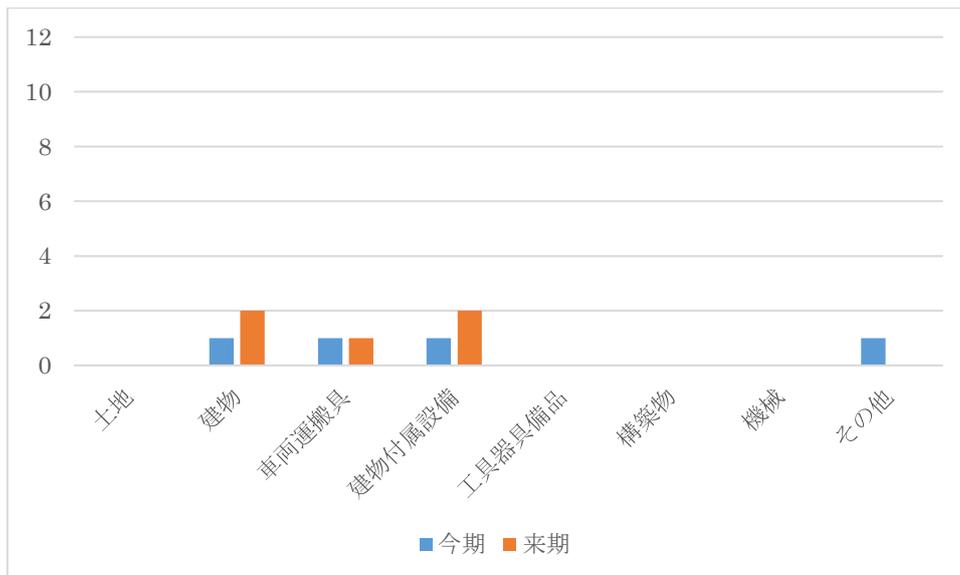
【設備投資調査】

前期（10～12月）設備投資をした企業は36.8%

今期（1～3月）設備投資をした企業は25.0%

来期（4～6月）設備投資を計画している企業は31.3%

設備投資をした（する）企業のうち投資内容は以下の通り。



《 飲食・宿泊業の景気動向 》

【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (10～12月)		今期実績 (1～3月)【前年実績】		来期予測 (4～6月)
業況	8.3	↓	▲21.1 【11.8】	↑	10.5
売上	20.8	↓	0.0 【23.5】	↑	15.8
採算	▲20.8	↓	▲31.6 【▲23.5】	↑	▲21.1
原材料	▲87.5	→	▲89.5 【▲100.0】	↑	▲78.9
資金繰り	▲12.5	↓	▲26.3 【▲5.9】	↑	▲15.8
労働時間	4.2	↓	▲36.8 【11.8】	↑	▲10.5
雇用状況	16.7	→	21.1 【29.4】	↓	15.8

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印(↑・↓)で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印(→)で表示

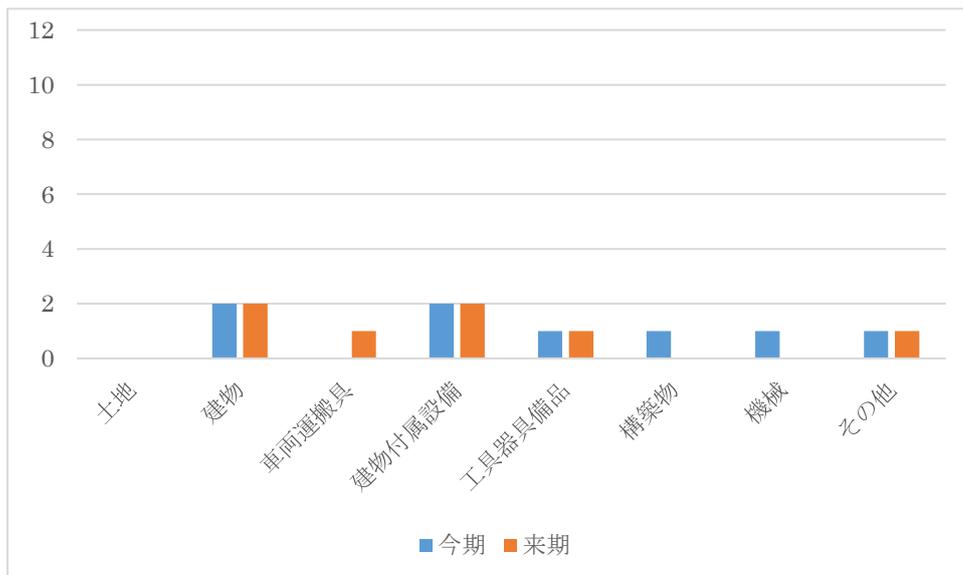
【設備投資調査】

前期(10～12月)設備投資をした企業は33.3%

今期(1～3月)設備投資をした企業は31.6%

来期(4～6月)設備投資を計画している企業は31.6%

設備投資をした(する)企業のうち投資内容は以下の通り。



《 その他サービス業の景気動向 》

運送・生活関連サービス・観光関連サービス・理美容・不動産・その他が含まれます

【主要DI調査】

主要DI	前期実績 (10~12月)		今期実績 (1~3月)【前年実績】		来期予測 (4~6月)
業況	▲13.2	↑	▲2.6 【3.4】	↑	15.8
売上	▲7.5	↑	5.3 【6.9】	↑	31.6
採算	▲20.8	↑	▲2.6 【▲6.9】	↑	10.5
原材料	▲56.6	→	▲55.3 【▲41.4】	↓	▲63.2
資金繰り	▲13.2	↑	▲2.6 【▲3.4】	↓	▲10.5
労働時間	▲7.5	↑	5.3 【0.0】	→	5.3
雇用状況	3.8	↑	26.3 【13.8】	↑	39.5

表中の矢印・・・5ポイント以上の推移を上下矢印(↑・↓)で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印(→)で表示

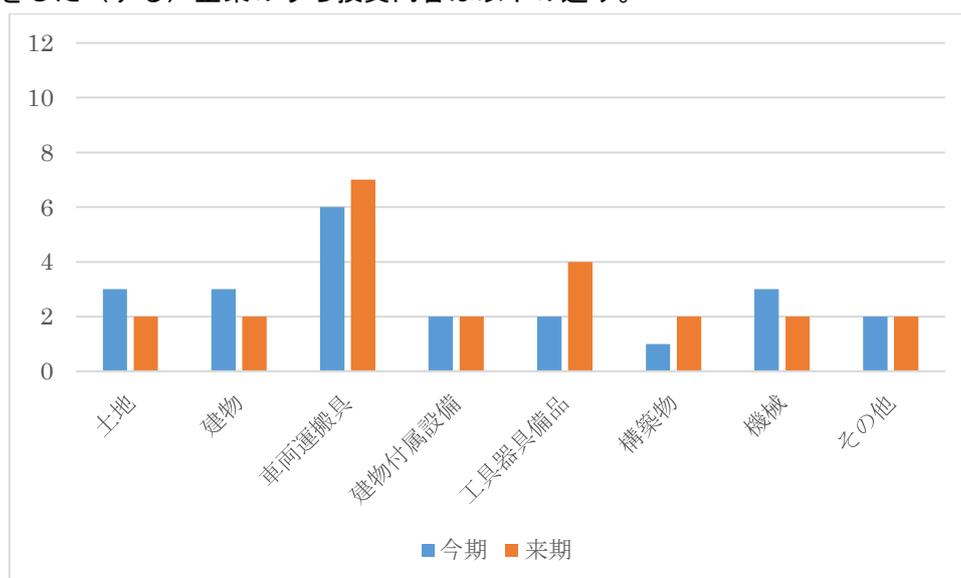
【設備投資調査】

前期(10~12月)設備投資をした企業は26.4%

今期(1~3月)設備投資をした企業は38.5%

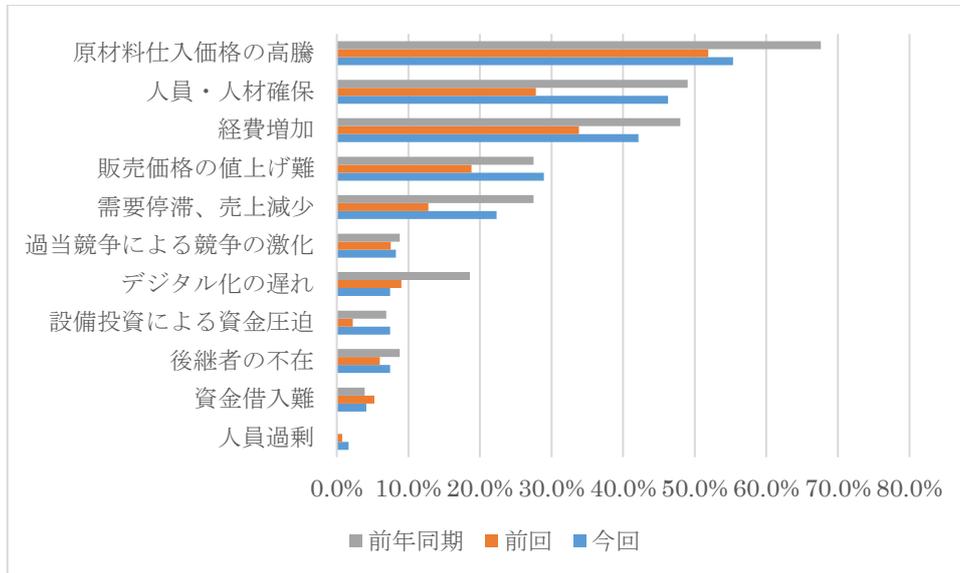
来期(4~6月)設備投資を計画している企業は39.5%

設備投資をした(する)企業のうち投資内容は以下の通り。



《 全体の経営上の問題点 》

今回の調査でも、経営上直面している問題点が多かったのは、前回に引き続き『原材料仕入価格の高騰（55.4%）』、次に『人員・人材確保（46.3%）』、『経費増加（42.1%）』が多い結果となりました。

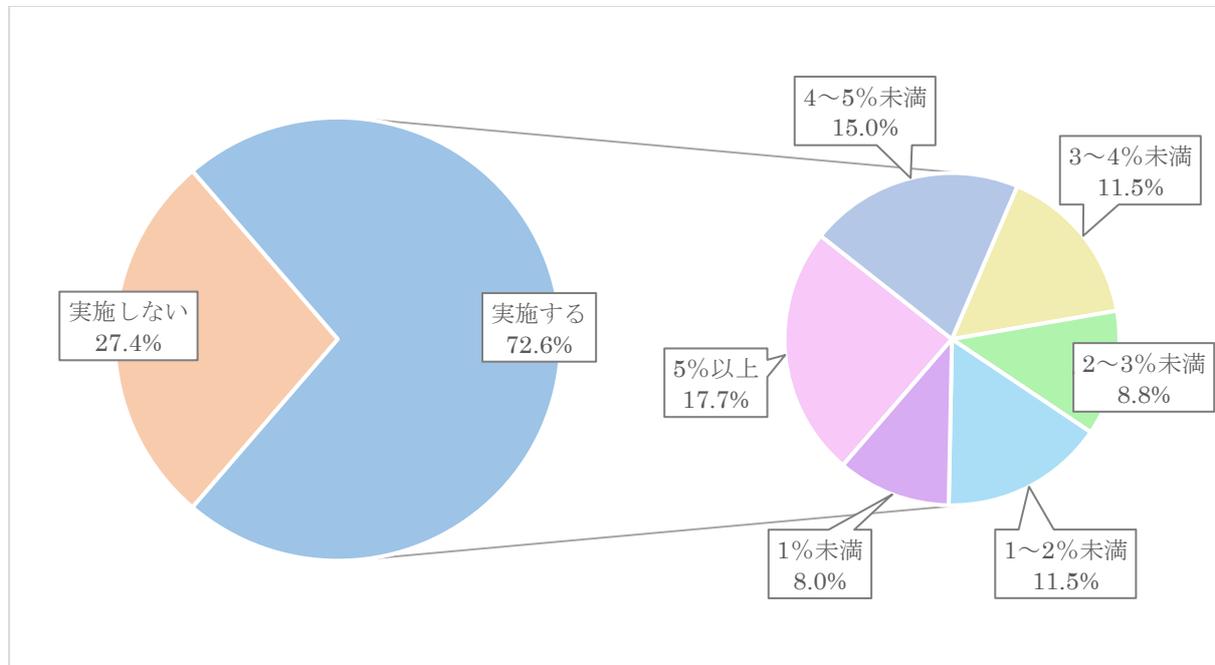


《 業種別の経営上の問題点 》

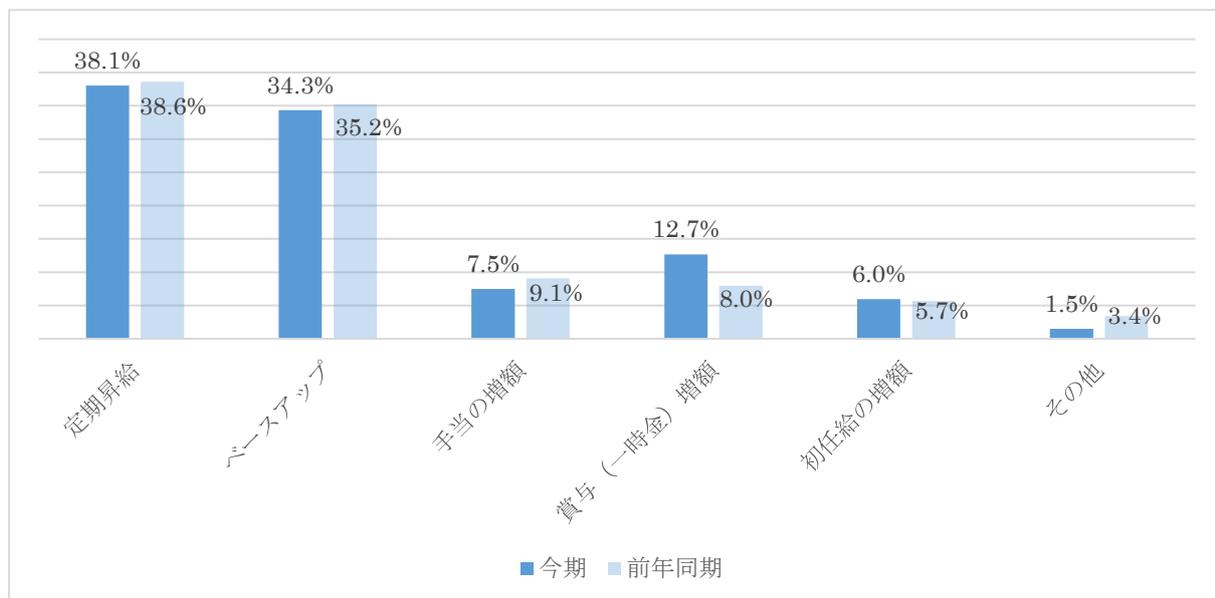
	製造業	建設業	卸・小売業	飲食・宿泊業	サービス業
1位	原材料仕入価格高騰	人員・人材確保	原材料仕入価格高騰	原材料仕入価格高騰	原材料仕入価格高騰
2位	人員・人材確保	原材料仕入価格高騰		人員・人材確保	
3位	販売価格の値上げ難	経費増加	経費増加	経費増加	人員・人材確保

《 令和6年度の賃上げについて 》

今回の結果から、従業員を雇用する企業のうち、令和6年度は賃上げを実施すると回答した企業は、72.6%でした。



賃上げの内容で最も多かったのは「定期昇給」が38.1%で、その次に「ベースアップ」34.3%となりました。前年同期と比較すると「賞与（一時金）増額」の割合が増えています。



《 観光関連の景況 》

観光に直接的に関わる業種及び企業を抜粋し調査しました。

対象事業者

市内の宿泊業、市内の観光関連業、市内の運送業、清水町・幸町周辺の飲食業、
新千歳空港及び周辺の観光関連事業者、支笏湖・モーラップ地区の事業者

景気動向

主要DI	前期実績 (10~12月)		今期実績 (1~3月)【前年実績】		来期予測 (4~6月)
業況	8.3	↓	▲9.7 【20.8】	↑	0.0
売上	4.2	↑	16.1 【33.3】	→	19.4
採算	▲25.0	↑	▲19.4 【▲4.2】	↓	▲25.8
原材料	▲87.5	→	▲90.3 【▲83.3】	↑	▲80.6
資金繰り	▲8.3	↓	▲19.4 【▲8.3】	→	▲19.4
労働時間	▲16.7	→	▲16.1 【16.7】	↑	▲6.5
雇用状況	▲16.7	↓	▲25.8 【▲33.3】	→	▲25.8

表中の矢印 . . . 5ポイント以上の推移を上下矢印（↑・↓）で表示
5ポイント未満の推移は横ばい矢印（→）で表示

《 企業の声 》

今回の調査では、前回に引き続き、全業種において原材料仕入価格高騰、人員・人材不足が課題であるという声が多く、人員・人材不足については「社員の高齢化が進んでいるが、若手人材の入職希望者がいない」などの意見がありました。また、人材育成に関する支援を求める声も増えつつあります。

全体の景気動向指数をみると、今期実績は横ばいが多く、下向きの項目もみられましたが、来期予測は上向きまたは横ばいの企業が多くみられました。

特に飲食・宿泊業や、観光関連業では来期予測が上向きの項目が多くみられますが、製造業は下向きの項目が多くみられました。

令和6年度賃上げを行う企業は72.6%で、前年データと比較したところ、賃上げを行う企業は微増しているものの賃上げ率は前年よりも減少していると読み取れます。

また、賃上げを実施する理由として、物価高騰による従業員の生活水準の維持・向上や家計費の補填という回答が多く挙げられる中、利益の還元と答えた企業もありました。

反対に、実施しない理由として、利益の減少という回答が多く挙げられています。

千歳商工会議所では企業ごとの様々な課題解決へ向け、事業計画作成支援や経営支援を行っております。また、人材確保対策として会員企業の求人広告作成や企業説明会、外国人留学生集団採用面談の開催を予定しています。

ご興味のある方はお気軽に千歳商工会議所へお問い合わせください。

前回から引き続き、Rapidus の進出・関連企業に関する動向を知りたいと求める声もありました。Rapidus 株式会社及び鹿島建設株式会社への会員情報の提供窓口を設置しておりますので取引希望の際は当所 HP からエントリーください。

本調査にご協力いただきました企業の皆様、ありがとうございました。

次回調査は令和6年7月頃です。引き続きご協力の程よろしく願いいたします。